

☆予防接種に関する説明☆

予防接種を受ける前に…

- ◎この予防接種は、個人のインフルエンザまたは新型コロナウイルス感染症の重症化を予防することを目的に実施するものです。
(接種義務ではありません)
- ◎この説明書をよく読み、予防接種の必要性や副反応について十分に理解した上で、接種を受けるかどうか判断をしてください。
- ◎予診票は医師にとって大切な情報源です！
接種を受けるご本人の様子を責任もって記入し、正しい情報を医師に伝えてください。
- ◎新型コロナワクチンと他のワクチンとの同時接種は、医師が特に必要と認めた場合に可能です。
また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

次の方は予防接種を受けることができません

- ◎明らかに発熱している方（37.5℃以上の場合）
- ◎重い急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ◎ワクチンに含まれる成分によって、
アナフィラキシー反応※などを起こしたことがある方

※「アナフィラキシー反応」とは、通常、接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。

発汗・顔が急に腫れる・全身にひどいじんましん・吐き気・嘔吐・声の出にくさ・息苦しさなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。

- ◎過去に予防接種を受けたとき、2日以内に発熱・発疹(ほっしん)・じんましんなどアレルギーを思わせる異常が見られた方
- ◎上記以外で、予防接種を受けることが不適当な方

次の方は、接種前に医師とよく相談してください

- ◎心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている方
- ◎免疫検査して異常を指摘されたことがある方
- ◎けいれんを起こしたことがある方
- ◎気管支喘息のある方
- ◎薬や食品に対して、アレルギーがある方
- ◎抗凝固療法を受けている方、血小板減少症又は凝固障害がある方

ワクチン接種に関するお問い合わせ

富士吉田市 健康長寿課 健康推進担当 TEL 22-1111 内線153・436(東庁舎1階)

予防接種後の一般的注意点

- 予防接種後は、医療機関の指示に従ってください。
急な副反応は接種後30分間に起こることが多いです。
- 24時間は体調に注意！
- 入浴は可能！
入浴の際、注射部位を強くこすらないでください。
- 接種当日は、激しい運動や大量の飲酒は避けて！



副反応について

- 注射の跡の赤み・腫れ、痛み、微熱、寒気、頭痛、全身のだるさなどがみられることもありますが、通常2～3日のうちに治ります。
- 2週間以内に発熱・頭痛・けいれん・運動障害・意識障害といった症状や、まれにショックやじんましん・呼吸困難などが現れることがあります。
- ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に下記のような事例が報告されています。
インフルエンザ：アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)など
新型コロナ：心筋炎、心膜炎など
- 使用するワクチンにより副反応の現れ方が異なる場合がありますので、接種をした医療機関へ確認をしてください。
- 接種後に気になる症状が現れた場合には、直ちに医療機関を受診してください。

予防接種健康被害救済制度について

一般的に、予防接種では副反応による健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。予防接種法に基づく予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。申請に必要な手続き等については、予防接種を受けられた時に住民票を登録していた市町村にご相談ください。

ワクチンの詳しい情報・最新情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

インフルエンザ



新型コロナ